

生徒指導通信

令和元年度 9月号

青森県立大間高等学校 生徒指導部
令和 元年 9月27日(金) 発行
Vol. 5
文責：主任 中野渡 信哉

卒業後、あなたに残るものは何？

昔、大村はま(一九〇六〜二〇〇五)という優れた国語教師がいました。この人が著書『教えるということ』の中で、以下のような話を紹介しています。

Aさんは長くパトカーの運転手を務めていましたが、ずっと無事故・無違反で、優れた運転手として自信があったそうです。ところが退職後、タクシীর運転手になったところ、危なくて危なくて、今にも周りの車にぶつかってしまいそうのため、怖くて運転できなくなってしまう、というのです。

なぜあんなに優れた運転手だった自分が、怖くて運転できなくなってしまうのか。Aさんの出した結論は、次のようなものでした。

「パトカーの運転手だった頃は、警察の車だということで、周囲の車が気を遣い、遠慮してくれた。そのおかげで、自分はうまく運転できていた。しかしタクシীর運転手になってからは、誰も気を遣ったり、遠慮してくれたりすることがなくなったため、運転が難しく感じるようになったのだ。」(意識)

この話は、色々なことを私たちに考えさせてくれます。

たとえば、**店員さんが私たちに親切なのは、私たちが「お客様」だからであって、私たちが偉いからではありません。** 私たち教員もそう。生徒が授業中、五十分間しっかり(たまに怪しい時もありますが)話を聞いてくれるのは、私たちが「教員」だからです。会社の社員が社長の言うことを聞いているのだから、それが「社長」だからであって、その人がすごいからだとは限らないのです(もちろん、本当にすごい人の場合もあります)。それを、「店員が親切なのは、自分が偉いからだ」「生徒が言うことを聞いているのは、自分がすごいからだ」などと勘違いしては、いざ「お客様」や「教員」、「社長」といった「枠」から外れた時に、痛い目を見ることは明らかでしょう。

皆さん高校生も同じです。皆さんは今、良くも悪くも「高校生」という枠の中で生活しています。高校生だからこそ制限されている部分もあれば、高校生だからこそ大目に見られている部分だってあります。しかし、卒業して社会に出てみるとどうか。**制限が少なくなり、自由が増える一方で、一人の「社会人」という枠で見られ、求められるものも多くなります。** 今まで「まあ高校生だから仕方ないよね」と大目に見られていたことも、許されなくなるのです。

さて、そんな「高校生」という「枠」から外れた時、皆さんに残るものは何でしょうか？ 一人の人間として、何で勝負するのか。是非、**高校生活で自分の「武器」を見つけ、それを磨く努力を怠らないで欲しいと思います。**

健康第一！

皆さんは本校の「校訓」って知っていますか？ そもそも校訓とは、「本校はこういう生徒を育てたいと思っています」という、**学校の方針や目標**のこと。体育館はもちろん、皆さんが毎日を過ごす教室の黒板の上にも掲示されていますが、覚えているでしょうか。答えは、

- ・敬愛(けいあい・他者を尊敬し、親しみの心を持つこと)
- ・自啓(じけい・自分で自分を成長させようと努力すること)
- ・健康(けんこう・心と体を健やかに成長させる知識と意志を備えること)



です。このうち「敬愛」と「自啓」は、言葉の意味が分かれば、言いたいことは理解できるかと思います。しかし、もう一つの「健康」。校訓にこの語が入っているのは、県全体で見てもなかなか珍しいのです。

WHO(世界保健機関)の定義によると、健康とは「**肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること**」をいうのだそうです。つまり、単に「病気でない」「弱っていない」といった身体の状態だけを指すのではなく、**精神面も、周囲との関係も充実して初めて「健康」といえるのだ**ということです。「健康」とは我々が考える以上に、奥深い言葉だということですね。こう考えると、**何をするにも「健康」が土台となるのは間違いなさ**そうです。

たとえば休みの日、ただ家で休んでいるだけでは、体力は回復しても、精神的には充実しません。時には外に出て、適度にストレス解消することも大切です。**長丁場の2学期が充実したものになるよう、「健康」を意識して生活しましょう！**

★10月の予定

- 1日(火) 1学年体験型エネルギー学習
- 3日(木) 10分短縮授業
- 8日(火) 体育祭準備
- 9日(水) 体育祭
- 16日(水) 5分短縮・薬物乱用防止教室
- 28日(月) 開校記念日(生徒休み)
- 29日(火) 1・2学年体験型進路学習
- 31日(木) 選挙出前講座
生徒会役員選挙